

# 事業計画

## I. 基本方針

我が国経済は、米国や欧州経済の堅調な推移、中国や新興国の安定成長といったグローバル経済の安定した動きなどを背景として、景気拡大期間は「いざなぎ景気」を超えた状況となっている。

こうした状況下、企業収益の拡大や雇用・所得環境の改善などから、全体としては緩やかな回復基調が続いており、地方にも景気回復の実感が徐々に感じられるようになってきている。

一方で、地政学上のリスクや米国の保護主義的な政策など、先行き不透明な国際情勢の中、深刻化する人手不足や賃金上昇、事業承継問題など、全国企業382万社の99.7%を占め、我が国雇用の約70%を担う中小企業を取り巻く環境には、依然として多くの課題が残されている。

また、当地域においては、「福山駅前を中心とする中心市街地の再生・活性化」、「幹線道路網や港湾の整備促進」、「産業・流通団地の整備促進」、「福山城築城400年に向けた機運の醸成」等、福山市が備後の中核都市として持続的発展を遂げていくために欠かせない事項が山積している。

こうした中、「中小企業等の活力強化」、「地域の活性化」という二つの使命・役割を担う福山商工会議所においては、今日の社会経済情勢や当地域の状況を踏まえながら、つぎの事項に資する取り組みを平成30年度主要事業として位置付けるものである。

- I 地域活性化の観点や会員事業所との対話を踏まえた政策提言・要望
- II 中小・小規模企業の経営力強化
- III IoTの活用や人材育成による生産性の向上及び働き方改革の推進
- IV 雇用対策の推進
- V 中心市街地の再生・活性化
- VI 地域資源を活用した地方創生の促進
- VII 情報発信力の強化
- VIII 持続可能な組織運営

これらの取り組みに当たっては、各種部会・委員会の活性化、行政・関係機関との有機的な連携、会員の生の声、相談者の掘り起こしなどに留意しながら、当事業計画の着実な推進に努める中で、「信頼される商工会議所」、「なくてはならない商工会議所」の実現をめざしていく。